

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 【新】貨物自動車運送事業者エコタイヤ導入支援費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 商業・金融課 商業振興係 電話番号：058-272-1111 (内3065)

E-mail：c11363@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 100,305 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	100,305	0	0	0	0	0	0	0	100,305
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

原油価格高騰を受け、燃料費が高騰する中、燃費の向上による燃料費の節減を図ることを目的に、貨物自動車運送事業者の低燃費タイヤ導入を促進するため、導入経費を助成する。

(2) 事業内容

岐阜県で登録がされている営業用貨物自動車に対して、タイヤ1本あたり定額で助成を行う事業に対して補助を行う。

【補助事業者】 (一社)岐阜県トラック協会

【支援対象】 県内に営業所を置く貨物自動車運送事業者

【支給金額】 県内で登録された貨物車両に使用するタイヤの購入費

(1本あたり定額)

- ・小型車、中型車、大型車 3千円/本
- ・軽自動車 1.5千円/本

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10（新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金）

(4) 類似事業の有無

運輸事業振興助成交付金を活用して、（一社）岐阜県トラック協会が低公害車導入支援を実施。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	100,305	エコタイヤ導入費助成
合計	100,305	

決定額の考え方

支援の必要性を判断できるだけの現状の把握や分析ができていないことから計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 国・他県の状況

- ・福井県 エコタイヤ購入補助 3千円/本
- ・岡山県 エコタイヤ購入補助 軽1.5千円/本 軽以外3千円/本
4府県で貨物自動車運送事業者向けの支援事業を実施

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

本県に交付された交付金を財源として、原油価格高騰に係る支援として実施する経済対策であり、県が当該経費を負担することは妥当。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	貨物自動車運送事業者エコタイヤ導入支援費補助金
補助事業者 (団体)	(一社) 岐阜県トラック協会 (理由) 上記協会は、岐阜県唯一の貨物自動車運送事業者の団体であり、輸送サービスの改善、工場等に取り組んでいる。
補助事業の概要	(目的) 原油価格高騰を受け、燃費の向上による燃料費の節減を図る。 (内容) 低燃費タイヤ導入 (性能の向上した低燃費タイヤへの買替含む) に対して購入費の一部を助成。
補助率・補助単価等	定額 ・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) 3千円/本 (軽1.5千円/本) (理由) 原油及び物価等の高騰等に影響を受けている貨物自動車運送事業者を助成する
補助効果	タイヤ導入に係る経費の軽減と、燃料費の節減
終期の設定	終期 令和4年度 (理由) 原油価格高騰に係る緊急支援のため

(事業目標)

- ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
燃費の向上による燃料費の節減を図るため、エコタイヤ導入を進める。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H12)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
/	/	/	/	/	/	/

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度
/	/	/	/

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	急激な燃料費の高騰により、厳しい経営環境にある貨物自動車運送事業者や運送事業者等に輸送を依頼する製造業者等の経営コストを軽減する必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	経済環境の変化に適宜対応して、制度を構築、見直している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 燃料サーチャージの導入など、燃料費の上昇に左右されない体制の整備。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 単年度事業
